

Collaboration4

KOREA
JAPAN
DJHS

未来の授業に国境はない

年齢も立場も専門分野の垣根もこえて、
アイデアや学びをシェアする授業がやってきた
アジアものづくりプロジェクトはいよいよ第二ステージへ



三一工業高校と同志社中学校 アーチ体験とBridgeContestの授業交流

アイデア・協力・クリエイトを丸ごと体験！！

11月28日、キリスト教主義の私立高校である三一（サムイル）工業高校が同志社中学校にて、授業交流を行った。韓国政府が税金を投入して力を入れている創造教育のモデル校的な学校として有名である。

最初、レンガをつかってアーチ橋の製作を体験しました。レンガの間に砂を埋め込み、一気に土台を外せばアーチ橋の完成である。本当に人が乗れるというのが新鮮で感動する。

二つ目のミッションはチームで課題を乗り越えるブリッジコンテスト。限られた材料で、知恵と工夫で橋の模型をつくり、強さを自分たちで評価するというプログラムである。3人チームという微妙な人数が、アイデアの

触媒のように作用し、徐々にはしが改良されていく。途中、時間がたりずに製作時間を延長させる盛り上がりを見せた。

また、同志社中学生徒による学校案内、日韓交流もすることができました。年齢や国境をこえていつの間にか友達のように仲良くなってしまうのも学生の特権なのかもしれません。

次はcollaboration5へと展開する。



program

- 1 同志社中学生による学校案内と交流
- 2 アーチ製作体験
- 3 ブリッジコンテスト
- 4 コンテストと表彰

アジアものづくりプロジェクト



since2013

これまでの枠組みに風穴を通し、国境をこえた学びのシェアを体験するプロジェクト。韓国の教師が本校で授業を行った2013年1月、クリップグライダーのワークショップからスタートした。立場、国境、言葉の壁を乗り越えて、グローバルなものづくり授業を展開しているプロジェクト。すでに生徒間の授業交流も行っている。

